

ホールソードリル

13 mm D 13SA T.T 形

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



販売元

TBC
TABUCHI

株式会社タブチ

製造元 工機ホールディングス株式会社

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

このたびは、**ホールソードリル**をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
うございます。

安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法などについて十分ご理解の上で正しくご使用くださるようお願いいたします。

— 目 次 —

	ページ
安全にご使用いただくために.....	2
ホールソードリルご使用上のご注意.....	5
各 部 の 名 称.....	6
仕 様.....	6
用 途.....	6
作業前の準備.....	7
ご 使 用 前 に.....	7
使 い 方.....	8
保 守 ・ 点 検.....	9
ご修理のときは.....	10

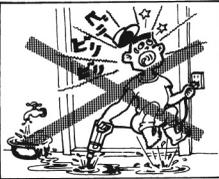
安全にご使用いただくために

(ご使用上の一般的な注意事項について述べておりますので、お買い求めの製品と異なる製品の図を掲載している部分があります。)

1. 指定用途以外には使わない!

本取扱説明書に指定された用途以外にはお使いにならないでください。

3.



湿った場所では使わないでください。

2. 正しい取扱いで安全作業!

本取扱説明書に従い、正しい取扱いで安全に作業してください。お子様など正しい取扱いを十分知らない人、正しい操作が出来ない人には絶対に使わせないでください。

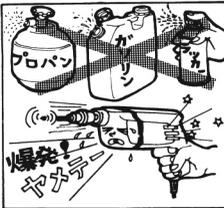
3. 湿気は禁物、感電事故のもと!

雨の中、湿った場所、ぬれた場所、機械内部に水や油の入りやすい場所などでは使用しないでください。湿気は感電事故のもとになります。またモートルの絶縁を弱めますので湿気は禁物です。

4. 感電防止の対策は!

漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。
なお、二重絶縁品を除き必ず接地(アース)してください。

5.



引火または爆発の恐れがある物質のある場所では使用しないでください。

5. 引火、爆発に注意!

電動工具は使用中に整流火花を発生します。またスイッチの開閉時にも火花を発生します。ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤等引火または爆発の恐れがある物質のある場所では危険ですので絶対に使用しないでください。

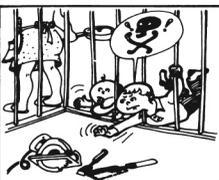
6. 整理整頓は安全の第一歩!

整理整頓は安全の第一歩です。作業台、作業場所は常にきちんとし十分に明るくしておいてください。

7. 作業関係者以外は近づけない!

作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。とくにお子様は危険です。

7.



お子様やまわりの人に危険のないように注意してください。

8. 刃物などの工具類は純正部品で!

刃物などの工具類は、指定された純正部品をお使いください。指定外のものでは、思わぬ事故をまねくことがありますから、絶対に使用しないでください。

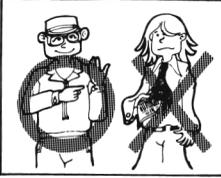
9. 正規の部品を正規の位置に!

刃物類や付属品の取付けは正規の位置に確実に行ってください。締付け不足や指定工具以外での締めすぎは危険です。また、取付けてあるカバー類やネジ類などは取りはずさないでください。それぞれ大事な役目を果たしております。

10. 運転前に再点検!

刃物類の取付けや点検したとき使用したスパナやネジまわしなどの工具類の取りはずしを忘れずと起動時に飛散し思わぬ事故のもとになります。また、回転固定装置などの取りはずしも運転前に必ず再点検をしてください。

12.



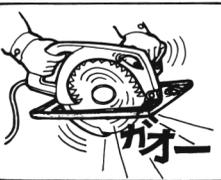
きちんとした服装で作業してください。

13.



無理な姿勢での作業は危険です。

17.



刃物類や回転部には手を近づけないでください。

19.



使用後は必ずスイッチを切りさし込みプラグを電源から抜いてください。

11. モートルの風窓はいつも全開！

風窓は、モートルを冷やすために必要です。ほこりが飛ぶからと言って、モートルの風窓などをふさがないでください。

12. 作業前にまず正しい服装を！

きちんとした服装で作業してください。ネクタイ、そで口の開いたもの、編手袋などは機械の回転部に巻き込まれる恐れがありますので身につけないでください。安全のため、保安帽を着用し、屋外での仕事ではゴム底の靴をはいてください。

13. 安全作業は、安定した姿勢から！

無理な姿勢での作業は危険です。常にしっかりした足場で身体の安定を保って作業してください。

14. 使用電源は必ず正規の電圧で！

必ず銘板に表示してある電圧で、ご使用ください。

100 V品を200 V電源に接続して運転しますとモートルの回転が異常に高速となり、刃物などが破壊する恐れがあります。

15. 無理な作業は事故のもと！

工具や付属品は、その能力をこえた作業をさせないでください。無理な作業は、製品の損傷をまねくばかりでなく、危険ですので避けてください。

16. 不用意にスイッチへ指をかけない！

電源に接続した状態で持ち運ぶ場合はスイッチに指をかけないでください。誤ってスイッチを入れる恐れがあり危険です。

17. 刃物類や回転部には絶対に触れない！

運転中は、絶対に刃物類や回転部に触れないでください。

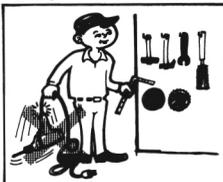
18. 異常が起きたら直ちに運転を中止！

運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気がついた場合には直ちに運転をやめ、点検・修理に出してください。

19. 使用しない時はさし込みプラグを抜く！

使用後および、刃物類の交換、掃除、点検、停電等の際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。また、不意に起動しないようさし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

20.



コードは大事に扱ってください。

20. コードは大事に扱う！

コードをつかんで製品を運んだり、コードを引っぱってコンセントから引抜いたりしますとコードをいため断線、ショートの原因となります。またコードが刃物類、高熱のものなどに触れないように注意してください。コードが損傷した場合は直ちに作業を中止し、修理に出してください。

21. 製品は大事に扱う！

誤って落したり、ぶつけたりしますと、外枠などが変形したり亀裂や破損を生ずる場合がありますので十分ご注意ください。

22. 刃物類はいつも良い切れ味で！

刃物類は常に手入れしていつも良い切れ味でご使用ください。

23. まめな手入れで寿命を長く！

常に製品の手入れに心掛け清潔に保ってください。とくにモートル部やスイッチ部のほこりは拭き取るよう心がけてください。また、コードは油やグリースなどによって劣化しないようにいつもきれいに清掃しておいてください。

24.



定期点検をしてください。

24. 定期点検は安全の基本！

常に安全に能率よくご使用いただくため定期点検をしてください。

25. 製品の保管にも十分な配慮！

製品は、お子様の手のとどかない乾燥した場所に保管してください。軒先など雨のかかるところなどには置かないでください。電気絶縁が低下し感電の恐れが生じます。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

□ 二重絶縁について

二重絶縁とは、電流の流れる導体などの部分と人の触れる外枠部との間が、それぞれ別な二つの絶縁物で二重に絶縁されていることを言います。

このように二重に絶縁されている電動工具を二重絶縁工具と呼び回マークを表示しております。

二重絶縁モートルでは、たとえ一つの絶縁部分がこわれても、もう一つの絶縁で保護されており感電に対し安全性が高められていると言えます。

二重絶縁構造を保ち、いつまでも安全にお使いいただくためには、異なった部品と交換したり間違っで組立てたりすると二重絶縁構造でなくなり、安全でなくなる場合があります。

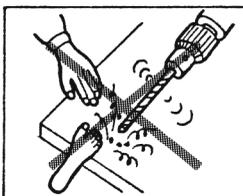
電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

ホールソードリルご使用上のご注意！

先に電動工具ご使用上の一般的注意事項について申し述べましたが、さらにどの製品にもその製品特有の注意事項があります。

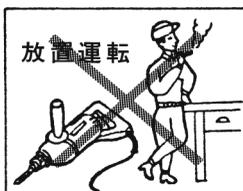
これからご使用いただくホールソードリルについては、下記の事項に特にご注意願います。

3.



回転している錐や切屑には手足などを近づけないでください。

5.



回転させたまま床などに放置しないでください。

1. 正しい用途で安全作業！

本機は鑄鉄管などの穴あけ作業を目的とした携帯用工具です。

この用途に合った作業にお使いください。

2. 最大能力を越えた作業はしない！

仕様欄にある本機の最大能力を越えた作業はしないでください。作業時の反力が大きくなり危険ですし、本機の寿命も短くなります。

3. 回転物には絶対に触れない！

回転中の錐やドリルチャックおよび切屑などには手や身体を近づけないでください。

切傷や巻き込まれの原因となり危険です。

また穴あけ後の錐は熱くなっています。

交換などの場合には直接素手で触れないでください。

4. 無理な荷をかけない！

無理に押し付けて回転数を大幅に低下させるようなことはさけてください。作業能率が低下するだけでなく本機の寿命も短くなります。

5. 回転させたままで放置しない！

両手で本体を保持していないときは回転させないでください。また回転させたままで床などに放置しておくことは危険です。

各部の名称

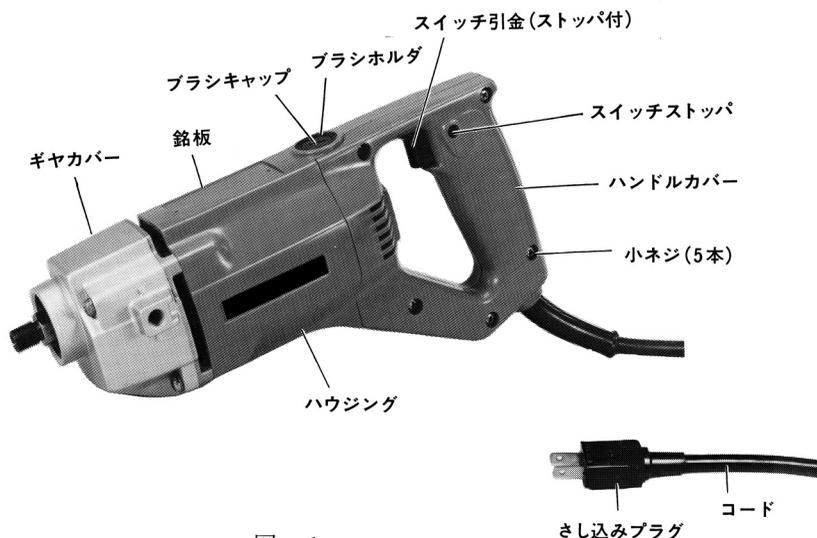


図 1

仕 様

使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用	電圧 100 V
最大穴あけ能力	専用錐・専用ホールソー呼び径 50mm	
電動機	単相直巻整流子電動機	
全負荷電流	6.1 A	
消費電力	580 W	
無負荷回転数	450min ⁻¹ {450回/分}	
質量	2.9 kg (コードを除く)	
コード	2心キャブタイヤケーブル 0.2m	

用 途

- ホールソーを使用して、鉄板、浴槽、新建材などの太径の穴あけ
- 鉄工錐、木工錐を使用して各種金属、木材、および樹脂材などの穴あけ

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 継ぎコード……………

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

次の表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25mm ²	15m
2 mm ²	25m
3.5 mm ²	45m

ご注意 コードに損傷があった場合には、修理に出してください。

2. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

ご使用前に

ご注意 ご使用前に次のことがらを確認してください。1～2項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板記載の電源でご使用ください。100V品を200V電源に接続すると、モータルの回転数が異常に高速となり、機体が破壊する恐れがあります。

ご注意 直流電源ではお使いにならないでください。製品の損傷をまねくばかりでなく危険ですので避けてください。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図1参照）を引くと入り、離すと切れます。

スイッチの引金を引き、離れたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

3. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。
そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

使 い 方

1. ホールソードリルを押す力は……………

必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐の刃先をいためて作業能率が低下するだけでなく、本機の寿命も短くなります。

2. 突抜け穴をあける場合は……………

穴の抜けぎわに錐やホールソーを折ったり、振りまわされたりすることがあります。穴の抜けぎわに押す力をゆるめることが大切です。

3. スイッチの操作……………

スイッチは指でスイッチ引金を引くと入り、離すと切れます。

引金を引いてからスイッチストップ（図1参照）を押しますと、引金から指を離してもスイッチは入ったままになり、連続運転に便利です。

切るときは再び引金を引いて離しますとストップははずれます。

ご注意

●作業が終了したら必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。

4. 使用直後の注意……………

使用直後、回転の止まらないうちに、切粉やごみの多い場所におきますと、切粉やごみを吸い込むことがありますので、ご注意ください。

保守・点検

注意 点検, 手入れの際は必ずスイッチを切り, さし込みプラグを電源から抜いてください。

1. 錐, ホールソーの点検……………

刃先の摩耗した錐やホールソーをそのままご使用になっておりますとモータルに無理をかけることになり, また能率も低下しますから早めに再研磨するか新品と交換してください。

2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと危険です。

3. カーボンブラシの点検……………

モートル部には, 消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと, モートルの故障の原因となりますので, 長さが摩耗限度(6 mm)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また, カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし, ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

【ご注意】 新品と交換の際は必ず
弊社指定のカーボンブラシ
をご使用ください。

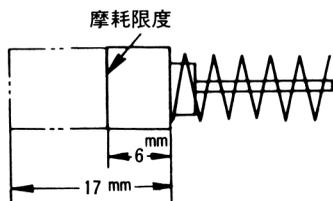


図 2

交換方法

カーボンブラシは, マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図1参照)をはずしますと取り出せます。

4. モートル部の取扱いについて……………

モートル部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

〔ご注意〕モートル内部にごみやほこりがたまりまますから50時間ぐらいご使用になりましたら、モートルを無負荷回転させて、ハウジングのスイッチ側風穴から湿気のない圧縮空気を吹き込みますと、内部のごみやほこりの排出に効果があります。

5. 表面のよごれの清掃……………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は、かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

ご修理のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなったような場合には、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店に依頼してください。

